



## 松永玲奈

ご祝儀の包み方とその意味を伝える卓上投影システム  
PC(Windows)、短焦点プロジェクター、マイク

### ■背景・目的

日本では、古くから伝わる四大儀礼である、冠婚葬祭が存在する。人生や季節にまつわる行事で、日本文化の中で非常に重要なものである。その際の立ち振る舞いは一般常識と捉えられることが多い。しかし、冠婚葬祭は頻繁にあるものではなく、そのマナーについて教わる機会はありません。そして、冠婚葬祭のマナーに対して自信がある人はほとんどいないことがわかっている。日本特有の文化である冠婚葬祭において失礼が無いように、礼儀や作法、常識を理解しておくことは大切である。

そこで、本研究では、ご祝儀を包む体験をしながらお香典との違いや意味について解説する卓上投影システムを提案する。冠婚葬祭における作法や礼儀を教示し、実践する場の提供を行うことで、より理解を深めることができると考えられる。

### ■評価実験

今回行った評価実験は2種類である。

#### 【評価1:卓上投影システムの利用】

目的:システムの伝達効果を測る。

#### 【評価2:ディスプレイ教示との比較】

目的:本システムが既存のサイトや動画よりも利用者に包み方や意味を効果的に伝えているかどうかを確認する。

方法:ディスプレイ教示での結果と卓上投影システムでの結果を比較した。

### ■評価方法

それぞれの実験において、主に2種類の方法で評価を行なった。

#### 【方法1:体験前後でマナーテストを実施】

目的:マナーの習得度を測る。

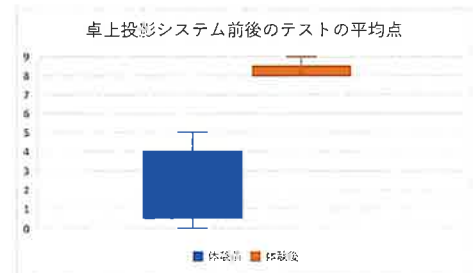
#### 【方法2:チェックリスト比較】

目的:完成度を客観的に評価する。

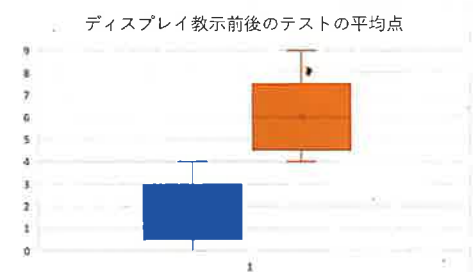
### ■まとめ・今後の展望

ご祝儀の包み方とその意味を伝えるために、利用者が卓上に投影された動画に奉書紙を合わせて「中包み」、「上包み」をし、実写動画を見ながら「水引」の作業を完了させる体験システムを提案した。利用者は正しい方法でご祝儀を包み、マナーに関する知識を身につけることができた。また、ディスプレイ表示と比較を行い、本システムの有効性を検証した。その結果、卓上投影の本システムは、ディスプレイ表示よりも正確に包み方を伝えることができ、意味やマナーについても利用者に身につけてもらうことができた。

今後の展望としては、より正確にご祝儀を完成できるように、動画の作成やシステムの最適な投影方法などを模索していく。また、今回紹介できなかった詳細の伝達や、負担を増やさない、最小限に済ませることができるよう工夫を検討していく。さらに、工程が多く、難しい作業を伴うことや、現段階ではご祝儀を包み終わるまでに多くの時間を要するため、利用者のモチベーションを保つ工夫も検討する。



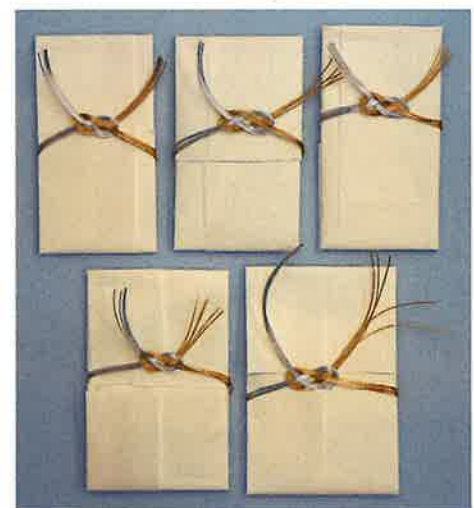
卓上投影システムのマナーテストの平均



ディスプレイのマナーテストの平均



卓上投影システムのご祝儀



ディスプレイのご祝儀



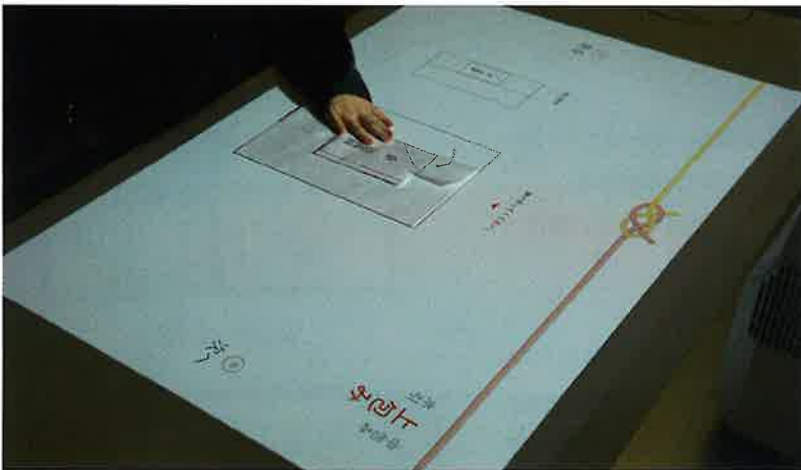
## 松永玲奈

### ご祝儀の包み方とその意味を伝える卓上投影システム

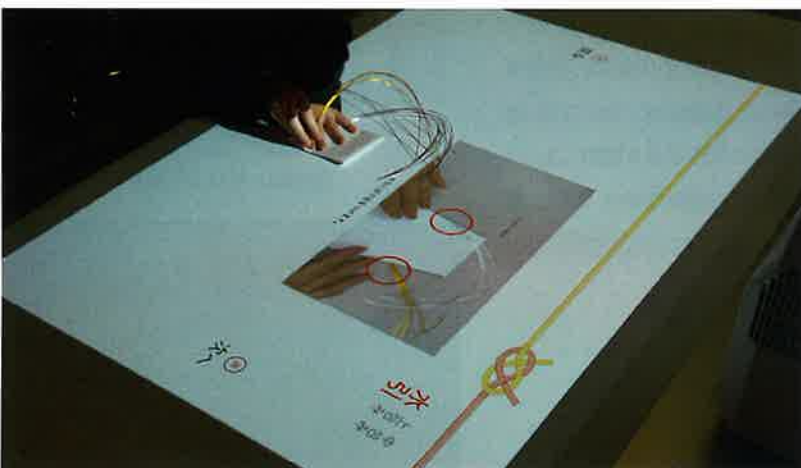
PC(Windows)、短焦点プロジェクター、マイク



中包みの様子



上包みの様子



水引の様子

#### ■ システム概要

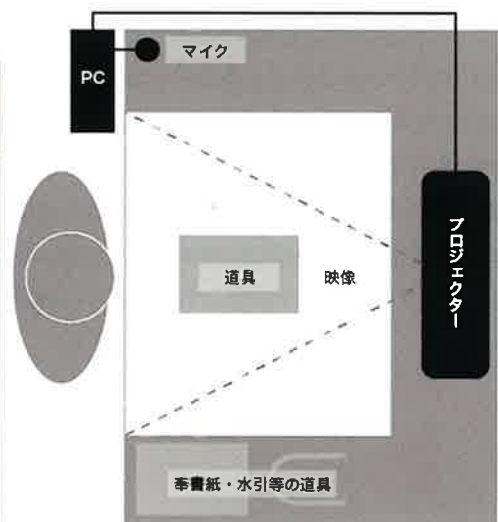
ご祝儀を包む体験をしながらお香典との違いや意味について解説するシステムである。

本システムはより多くの人にとって有意義なものになるように、汎用性のある包み方であり、誰もが参列する可能性の高い、あわじ結びを使用した友人の結婚式でのご祝儀を用意する設定にした。

利用者は卓上に置かれた奉書紙、水引、お札を手に取り、卓上に投影された動画を見ながらご祝儀を包む。工程の進め方は、「次へ」、「戻る」の2パターン音声認識し、シーンを変更する。お金の包み方は「中包み」、「上包み」、「水引」から構成される。

「中包み」、「上包み」は、画面中央に投影された折り図(奉書紙)に実際の奉書紙を合わせ、作業を進める。折り図の上部には作業の指示、左部には内部の様子、右部には意味やマナーが投影される。

「水引」については、画面上部に投影された実写映像とイラストの補足説明を見ながら実際の水引を結ぶ。「水引」に関する意味やマナーは、水引を結ぶ前後に教示する。



システム構成図